

CORIO LANUS

TOSHIKI KARASAWA + KAYOKO SHIRAIISHI + MASANOBU KATSUMURA
Interview

唐沢寿明さん、白石加代子さん、勝村政信さんインタビュー

まったく新しい『コリオレイナス』誕生の予感

来年1月に公演を控え、すでに気持ちの上でも準備を始めている『コリオレイナス』出演者の面々。シェイクスピア作品に出ることは、俳優にとってそれだけ大変なことだと、唐沢寿明さんはいう。「シェイクスピア作品に出るというのは、試される気がする。せりふの量が尋常じゃない上に、それを頭からラストまでお客さんにちゃんと言葉として伝えられるかが肝心。声も体力も滑舌も俳優として持っているベーシックな部分が試される。そういうの

が試されない舞台というのは、何本やっても変わらないと思います。だから、やりきった時にはまだ俳優として大丈夫だと思えるのかもしれない」
蜷川演出の『夏の夜の夢』など数々のシェイクスピア作品の経験もある白石加代子さんも「シェイクスピア作品は言葉の洪水だから、それをとにかく成り立たせなければならぬというのが苦勞」と打ち明ける。もちろん、蜷川幸雄の演出である以上、ましてや来年4月にロンドンでの公演も決定しているのだから、要求水準が高いのは誰しもが覚悟しているところ。白石さんは言う。「蜷川さんの作品は、いつも世界レベルを目指しているのだから、『コリオレイナス』に限ったことではないと思いますが、出演者全員がより高いレベルを目指すと思います」。海外公演をするのは今回が初めてだという勝村政信さんも静かな闘志を燃やしている。「蜷川さんのおかげもあって、今は海外のハードルは低くなったし、日本のお芝居の水準も今は高いと思う。しかし、言葉がわからない分、せりふのリズムなどでニュアンスを伝えられたらと思う」。

蜷川演出の『マクベス』で、ニューヨーク公演を経験した唐沢さんは、はやる心を押さえ気味にこう語ってくれた。「基本的には日本でちゃんとやることです。まず日本のお客さんに喜んでもらうこと、認めてもらうことが第一で、それが無いとだ

唐沢寿明



「この劇場のつくりや雰囲気が好きなので、都内からだとちょっと遠いかもしれませんが、ぜひ観に来てください」

めだと思うんです。イギリスはその後」
「蜷川さんですから、まずどこかで観たようなシェイクスピアだななんていうふうにはなりません。鮮度みたいなものを、蜷川さんは絶対に見逃さないでやりになると思うから」と白石さんもおっしゃるように、蜷川と出演者たちの熱意で、まったく新しい『コリオレイナス』が誕生する予感。それを、世界で初めて彩の国さいたま芸術劇場で観られるのは、なんとという贅沢なことだろう。

白石加代子



「唐沢さん、勝村さんとともに、舞台での力もさることながら、楽屋内での全体への配慮の仕方がすばらしい方たちです」

『コリオレイナス』『恋の骨折り損』を連続観劇すると……

『コリオレイナス』は来年1月～2月、『恋の骨折り損』は来年3月の公演予定。これを連続で観劇すると、シェイクスピアという人間や作品の幅広さが見えてきて、さらに楽しめそう。そんな見方の極意を、ギリシャ悲劇研究者であり、蜷川幸雄演出の『メディア』『オレステス』などの翻訳でも知られる山形治江さんが解説する。

コリオレイナスは、民衆どころか観客にすら媚びない。彼はハムレットのように哲学的に悩みを打ち明けたり、マクベスのように文学的に心情を吐露したりして観客の心をつかむ長い独白なんかしないのである。また民衆を蔑視し民主主義を罵倒する傲慢な態度と自制心のきかない攻撃性も、観客から共感を奪う。この偏狭な性格は子供時代から続く、ロウるさい母へのストレスに起因するというマザコン説があるそうだが、大きなお世話である。それより気になるのは、無責任に付和雷同する「尻軽な世論」が英雄を国賊に変える危険性だ。あまりに無節操な市民の姿を舞台上に見ながら、われわれも民主政治を衆愚政治に変える煽動的発言や大衆操作には警戒すべきではないか。などと、今の日本の政治についていつになく真剣に考えてしまう劇である。

この劇を発表した時、シェイクスピアは40代半ば。すでに傑作喜劇群で大成功し、四大悲劇で人気作家として不動の地位を築いていた。以後、作風はロマンティックな悲喜劇に変わる。つまり、『コリオレイナス』を見れば、彼の心境変化の一端に触れることができるわけだ。一方、『恋の骨折り損』はシェイクスピアが流行作家になりかけの30歳頃の作品である。山場に欠けるだの、登場人物が小粒だのと批判もあるが、なにしろ若いから勢いも遊びもある。軽妙な機知合戦、手紙の利用、立ち聞き、劇中劇など、それ以後の喜劇で最大の効果を上げた手法が満載だから、あれはここで使われていると考えるのも楽しい。しかも今回の舞台は男優のみ。当時は変声期前の初心な少年が演じていた女役をイケメンたちが地声で演じるので、ますますエロティックだ。二作を連続して観劇すれば、シェイクスピアの作家としての幅と成長の軌跡がよくわかる。

文・山形治江

やまがたはるえ。ギリシャ悲劇研究者。翻訳家。津田塾大学英文科卒業、早稲田大学大学院西洋演劇専攻博士課程満期修了。イギリス、ギリシャへの留学を経て、現在、日本大学教授、早稲田大学講師、山脇学園短期大学講師。主な著書に『ギリシャ悲劇～古代と現代のはざままで～』（朝日選書480）、翻訳に『オイディプス王』『エレクトラ』（劇書房）、『オレステス』（れんが書房新社）など。

彩の国シェイクスピア・シリーズをもっと楽しむためのイベント案内

「さいたまアーツ・シアター ライヴ!!」で気分を盛り上げる

彩の国シェイクスピア・シリーズで恒例となったこの企画は、開演1時間前から30分ほど、彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザなどで行うミニ・コンサート。お芝居の始まる前に素敵な音楽を無料で楽しめるので、いつもより少し早めに劇場に足を運んでみては?



【日時】彩の国シェイクスピア・シリーズ公演日（2007年1月23日～2月8日、3月16日～31日）
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 他

「コリオレイナス」「恋の骨折り損」稽古場見学会を実施!

埼玉県在住の方及び財団メンバーの方を対象に、稽古場見学会を開催します。参加ご希望の方は、以下の要領でご応募ください。

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場
【日時】『コリオレイナス』2007年1月12日(金) 11:00～
『恋の骨折り損』2007年3月初旬予定
(各回約1時間実施予定。時間は変更になる場合があります。)
【定員】各回30名(参加費無料)
【申し込み方法】(『恋の骨折り損』については次号でお知らせします)ハガキに以下の事項を記入の上、締切日までににご応募ください。お書葉1通にてお1人様受付(応募多数の場合は、抽選を行います。この場合、入場券の発送をもって抽選結果の発表に代えさせていただきます。)
記入事項:①(自宅または勤務先の)郵便番号・住所 ②氏名 ③電話・FAX番号 ④会員番号(メンバーの方)
応募締切:『コリオレイナス』12月6日(水)(当日消印有効)
応募先:〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1 彩の国さいたま芸術劇場
『コリオレイナス』稽古場見学会

第16弾 『コリオレイナス』

【日時】2007年1月23日(火)～2月8日(木)
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
【演出】蜷川幸雄
【作】W・シェイクスピア
【翻訳】松岡和子
【出演】唐沢寿明、白石加代子、勝村政信、
香寿たつき、吉田鋼太郎、瑛川哲朗ほか
【チケット(税込)】
S席9,000円 A席7,000円
B席5,000円 学生席2,000円
チケット好評発売中

SHAKESPEARE
X
YUKIO NINAGAWA

第17弾 『恋の骨折り損』 NEW

【日時】2007年3月16日(金)～3月31日(土)
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
【演出】蜷川幸雄
【作】W・シェイクスピア
【翻訳】松岡和子
【出演】北村一輝、姜暢雄、窪塚俊介、高橋洋、
内田滋、月川悠貴、中村友也、須賀貴匡ほか
【チケット(税込)】
S席9,000円 A席7,000円
B席5,000円 学生席2,000円
【発売日】11月18日(土)

「コリオレイナス」「恋の骨折り損」バックステージ・ツアーを開催します!

『コリオレイナス』『恋の骨折り損』の公演チケット(半券可)をお持ちの方を対象に、バックステージ・ツアーを開催します。参加ご希望の方は、以下の要領でご応募ください。

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
【日時】
『コリオレイナス』2007年1月28日(日) (13:00開演)公演終了後
『恋の骨折り損』2007年3月下旬予定 (13:00開演)公演終了後
【内容】舞台美術家中越司氏のお話と舞台セットの裏側(見学可能な範囲)を見学(40分程度)
【定員】各回30名(参加費無料)
【申し込み方法】(『恋の骨折り損』については次号でお知らせします)ハガキに以下の事項を記入の上、締切日までににご応募ください。(応募多数の場合は、抽選を行います。この場合、入場券の発送をもって抽選結果の発表に代えさせていただきます。)
記入事項:①郵便番号・住所 ②氏名
③ご購入チケットの公演日時と席番(ハガキ1枚につき2名様まで)
応募締切:12月10日(日)(当日消印有効)
応募先:〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1 彩の国さいたま芸術劇場
『コリオレイナス』バックステージ・ツアー係